

かごしまの教育

No.82 令和6年1月

広報紙「かごしまの教育」について、皆さんの御意見・御感想をお聞かせください。



アンケートへのアクセスはこちら

発行/鹿児島県教育委員会 総務福利課
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町110-1
☎099-286-5190



夢や希望を実現し未来を担う鹿児島の人づくり 鹿児島県教育委員会

第47回全国高等学校総合文化祭 (2023かごしま総文) 閉幕

～応援ありがとうございました!～

「第47回全国高等学校総合文化祭(2023かごしま総文)」が、秋篠宮皇嗣殿下並びに悠仁親王殿下の御臨席を賜り、令和5年7月29日から8月4日までの7日間、県内8つの市町で開催されました。



総合開会式



大会初日の7月29日(土)は、開会行事である総合開会式とパレードを開催しました。

総合開会式には、次年度開催県である岐阜県の生徒実行委員会や海外からお招きした高校生など440人が出演し、趣向を凝らしたパフォーマンスが披露されました。

パレード



県立博物館から鶴丸城本丸跡に復元された御楼門前までの「かごしま文化ゾーン」約600メートルにおいて、パレードが実施されました。49団体1,480人による華麗でダイナミックなパレードとなりました。

22部門大会

大会期間中、22の部門大会が県内各地で開催されました。各都道府県を代表する高校生によるレベルの高い芸術文化活動の披露等が行われました。

本県からは、弁論部門並びに自然科学部門のポスター発表部門において文化庁長官賞を受賞したほか、7つの部門とパレード併せて計14校21の個人や団体が表彰されました。



弁論部門
沖永良部高校 川上天歌さん(3年)



自然科学部門
池田高校 科学愚考研①
杉山夢子さん(3年) 後堂和乃さん(3年) 末満季紗さん(2年)

駆け抜けた2年間、みんなで叶えた夢

「総文祭って何?」そんな疑問から始まった私たちの活動。思い返すとあっという間の全力で駆け抜けた2年間で、たくさんの初めての経験をし、たくさんの素晴らしい出会いがありました。2023年7月29日に私たちが見た景色は、それぞれの胸にしっかりと焼き付いています。

様々な高校から集まった100人あまりの高校生たちと、「全国一巡目のラストを飾る、記念すべき大会」を成功させるために全力を尽くしてきました。時には大きな壁にぶつかることもありました。それでも最後までやり遂げることができたのは、会に行けばみんなが楽しく活動していて、いつも励ましあって頑張っていたからです。活動する時間の全てに私たちの青春が詰まっています。私の夢見ていた高校生活が、そこにはありました。

2023かごしま総文は大成功に終わりましたが、ここで終わる私たちではありません。高校生でなくても、まだまだ広がる私たちの無限の可能性を、今度はそれぞれの場所で追いかけていきたいです。

生徒実行委員会 委員長
三森 芽依(甲南高校 3年)



鹿児島南特別支援学校が 開校しました!!



令和5年4月に鹿児島南特別支援学校が開校しました。鹿児島市南部の肢体不自由及び知的障害の児童生徒の教育を行う特別支援学校です。また、鹿児島大学病院に入院中の児童生徒及び鹿児島市南部地区に在住する児童生徒の訪問教育も行っています。

新設された明るく開放的な校舎では、342人(令和5年5月1日現在)の児童生徒が学んでいます。校舎の中には、鹿児島県産の木がふんだんに使用されていて、とても暖かな雰囲気に包まれています。



燃ゆる感動 かがしま国体

2023年10月7日(土)～10月17日(火)
【会期前実施競技：2023年9月16日(土)～9月24日(日)】



たくさんの応援ありがとうございます！



燃ゆる感動 かがしま大会

2023年10月28日(土)～10月30日(月)

令和5年10月、鹿児島県で燃ゆる感動かがしま国体（特別国民体育大会）、燃ゆる感動かがしま大会（特別全国障害者スポーツ大会）が開催されました。両大会には選手やスタッフ、ボランティアとして、また、応援グッズの製作などに、多くの児童・生徒・先生方が関わっていただきました。

鹿児島県選手団は、国体では33競技・174種目で入賞し、天皇杯・皇后杯ともに2位を獲得、障害者スポーツ大会では過去最多の196個のメダルを獲得するなど大活躍でした！

みなさまのたくさんのご協力のご声援、ありがとうございました！

児童・生徒・学生たちが大活躍！！

かがしま国体 総合開閉会式・かがしま大会 開閉会式



両大会の式典は、県内の児童・生徒・学生が式典演技や式典音楽の演奏、選手団入場のプラカードなどで参加しました。学業の合間に練習してきた式典演技や音楽などは式典を彩りました。そして県外からの選手などに「元気をもらった」と好評だったのが、選手団入場時の都道府県応援団の声援！参加されたみなさま、ありがとうございました！

鹿児島県選手団の活躍



企画展 世界自然遺産 ～奄美大島・徳之島～



令和3年7月に世界自然遺産に登録された「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」には、多様で豊かな自然が残されています。今回は、本県の登録地域である奄美大島と徳之島に焦点を当て、標本や写真、映像でその自然の魅力を紹介します。

期日：R5.12.23(土)～R6.2.25(日)
会場：鹿児島県立博物館本館1階企画展示室

「宝本」に出会える読書

県立図書館では、人と人との絆を深め、感動を味わい、自分を見つめることができる本を「宝本」と呼んでいます。初めて読み聞かせてもらった絵本、家族で好きな本、図書室で出会った本。毎年開催している「宝本エピソード展」には、大切な本にまつわるエピソードが県内各地からたくさん届きます。「親子20分読書運動」や「1日20分読書運動」を通して、たくさんのお本を読み、自分だけの大切な「宝本」に出会いましょう。

【県立図書館児童文化室
おはなしのじかんの様子】



【令和5年度宝本
エピソード展の様子】

鹿児島県公立学校教員募集

笑顔あふれる子供たちのために、一緒にがんばる先生を募集しています。

鹿児島県公立学校教員募集特設 HP
鹿児島で「夢」をカタチに～子供たちとつくる未来～



本県教員採用に関する各種情報のほか、現職の先生方が「鹿児島島の先生」の魅力を伝える動画も掲載しています！ぜひ、ご覧下さい。



（特設HPはこちらから）

〇問合せ先 鹿児島県教育庁教職員課
TEL:099-286-5267 FAX:099-286-5667

「当たり前」について考えてみませんか？

「〇〇するのが当たり前」、「こんな当たり前のこともできない」。私たち大人は、子どもたちに「当たり前」という言葉を使いがちです。しかし、果たして自分が考えている「当たり前」は、本当に「当たり前」なのでしょうか。



価値観が多様化した社会を生きていく上で、一人一人のよさやちがいを認め合い、尊重し合うことが求められています。

「ちがい」があるからこそ、そこに様々なアイデアが生まれます。苦手な分野を互いにカバーしながら、一人一人がよりよく生きていくことができます。「ちがい」を認め合うことが、豊かな生き方につながるのではないのでしょうか。

それにも関わらず、私たちはつい自分の中の「当たり前」を相手に押しつけてしまうことがあります。



男の子なんだから泣かないの！

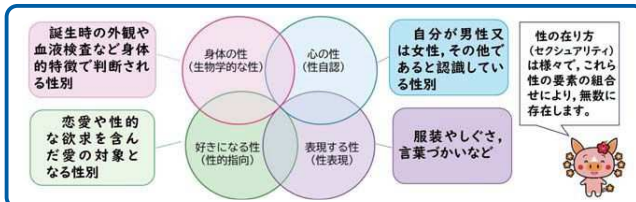


女の子は料理ができませんわ。



「男は強くあるのが当たり前」、「女は家事をするのが当たり前」、「男は女（女は男）を好きになるのが当たり前」…。この「当たり前」という意識が、他者を傷つけ苦しめることがあります。

私たちは、性を「女性」「男性」の二つで捉えがちですが、性の在り方は「身体的性」「好きになる性」「心の性」「表現する性」といった性の要素の組合せで決まり、実に多様です。



しかし、私たちの「当たり前」の意識が、性的マイノリティとされる人たちに生きづらさを感じさせています。また、この「当たり前」の意識によって、自分自身も息苦しさを感じることもあるのではないのでしょうか。だからこそ、私自身が多様な性の一員であることを認識することを大切にしたいものです。

私たちの「当たり前」について、折に触れて立ち止まって考えることを大切にしたいですね。

リーフレット「性的マイノリティへの正しい理解と認識を深めるために」(人権同和教育課作成)



高等学校等奨学金の活用を！

県育英財団では、経済的理由によって修学が困難な生徒に対して奨学金の貸与を行っています。年度途中に家計が急変した生徒に対する貸与も行っていますので、お問い合わせください。

応募資格：鹿児島県内に生活の本拠を有する方の子

【緊急採用】募集期間：随時募集

対象：高校1～3年生等

【予約募集】募集期間：令和6年7月中旬～9月下旬（予定）

対象：新中学3年生等

【在学募集】募集期間：令和6年3月上旬～5月中旬（予定）

対象：新高校1～3年生等

※学力基準や収入基準等があります。



【問合せ先】

公益財団法人鹿児島県育英財団

電話：099-286-5244



育英財団 URL

交通ルールの遵守とマナー向上

【運動の重点事項及びスローガン】

- 幼児・児童の道路への飛び出し防止
～横断は しっかり よく見て たしかめて～
- 自転車運転のルール遵守とマナー向上
～保険に加入し ヘルメットをかぶろう～
- 二輪車運転のルール遵守とマナー向上
～制限速度を守り 周囲の安全確認を～



7月第Ⅰ期の交通事故による負傷者数は、前年度の28人から9人減の19人でした。第Ⅱ期は、交通事故0を目指して、家庭、地域が一体となり取り組みましょう。

【自転車安全利用五則】

- ① 車道が原則、左側を通行、歩道は例外、歩行者優先
- ② 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- ③ 夜間はライトを点灯
- ④ 飲酒運転は禁止
- ⑤ ヘルメットを着用

※ 家庭でも道路の横断の仕方や正しい自転車の乗り方等を話題にし、子供たちの交通事故防止に対する意識を高めましょう。

地域が育む「かごしまの教育」

県民週間 11月1日～7日

県民週間は、学校等で実施される多彩な行事や教育活動を通して、普段の子供たちの様子を多くの県民の皆様にご覧いただき、鹿児島の教育について考えていただくとするものです。この県民週間を幅広く普及するため、県内の小・中・義務教育・高等学校及び特別支援学校の児童・生徒から募集したポスター原画及び標語の最優秀・優秀作品を紹介します。

最優秀賞



鹿児島市立東谷山小学校 網谷明紗 (2年)

友だちたくさん
わたしのすきが
つまった学校

たからばこ
始良市立建昌小学校
荒木陽花 (3年)

優秀賞

標語の部

(応募総数：2,124点)

世で超え みんなで創ろう 学びの場
薩摩川内市立植藤中学校2年 瀧田 季衣

よつぽらっつーい 見てっつーい
鹿児島市立山下小学校2年 才田 千華

ぼくらの学校 ちいさのみんなの学校
阿久根市立山下小学校2年 才田 千華

はじめのまて ちいさのみんな ぼくは がんばります
鹿児島市立山下小学校2年 瀧田 季衣

ポスター原画の部

(応募総数：1,984点)



薩摩川内市立国分北小学校
藤方 真望 (1年)

鹿児島市立田上小学校
藤方 優 (5年)

出水市立出水小学校
藍元 心美 (6年)

学校賞 薩摩川内市立黒木小学校

学校賞 薩摩川内市立亀山小学校

学校賞 鹿児島市立山下小学校

学校賞 鹿児島市立名山小学校

特選・入賞や各学校の活動などHPへ



公立高等学校「学校紹介1分動画」

進路学習の教材にも活用!!

県教育委員会のホームページには、県内全ての公立高校の学校案内パンフレットも掲載しています。こちらをご覧ください。

←【鹿児島県公立高校【全68校】各学校案内パンフレット】

公立高校の魅力や特色等を分かりやすく伝えるため、高校生が制作した「学校紹介1分動画」をYouTubeに公開しました。

【2023年版「学校紹介1分動画」掲載サイト】→



公立高校の魅力発見!!



高校生が高校生の目線で制作した今回の動画は、学校の雰囲気や特色、高校生が生き生きと活動する様子を見ることができます。

是非、多くの学校の「1分動画」を見て、県内各地の特色ある学び舎を覗いてみてください。



不安や困りごとはありませんか？お手伝いできるかもしれません。

保護者が困る子どもの行動



- ・学校に行きたがらない
- ・朝、起きられない
- ・やる気がでない
- ・勉強を嫌がる
- ・友達とのトラブルが多い
- ・怒りやすい
- ・かんしゃくを起こす
- ・反抗する
- ・攻撃的になりやすい
- ・言うことを聞かない
- ・ゲームばかりしている など

問題行動と受け取られる言動が見られる子どもたちの背景には、さまざまな要因があります。

子どもに寄り添い、気持ちを受け止めることで、解決することがあるかもしれません。

実は子ども自身がいちばん困っているのかも



子どもたちの出した SOS を大人がしっかりと受け止めることが大切です。

あなたの心に寄り添いたい

誰だって気分が落ち込んだり、生活に不安や悩みを感じたりするときがあるものです。県教育委員会では、多様な悩みを抱えている児童生徒や保護者の皆様に寄り添い、サポートするため、様々な取組を行っています。なお、教職員等による不適切な指導や、性的な被害等についても相談を受け付けています。お気軽に御相談ください。

① 気軽にお話を聞かせてください。

〈スクールカウンセラー配置事業〉

児童生徒の不安や悩み、保護者の皆様の子育ての悩みについてカウンセリングやアドバイスを行うため、県内の公立学校にスクールカウンセラーを派遣しています。また、スクールカウンセラーは、「SOSの出し方に関する教育」で授業に加わったり、家庭教育学級等で講話を行ったりしています。

- 〈相談内容の例〉
- 不登校・登校しぶり
 - 友人関係・いじめ
 - 勉強・進路
 - 心と身体の健康
 - その他、不安や悩み など

② 学校や関係機関をつないでサポートします。

〈スクールソーシャルワーカー活用事業〉

児童生徒が置かれた様々な環境へ働きかけて支援を行い、関係機関等と連携して問題の解決を図るため、福祉に関する専門的な資格を有する広域スクールソーシャルワーカーを県立学校や各市町村教育委員会に派遣しています。

- 〈相談内容の例〉
- 行政による家庭及び児童生徒に対する支援
 - 家庭での虐待等への対応
 - ヤングケアラーへの対応 など

③ SNSを使って相談できます。(かごしま子供SNS相談・通報窓口)

県内の公立中・高等学校等の生徒を対象に、身近な SNS を使って、チャット形式で悩みを相談したり、いじめの目撃情報等を学校へ連絡できる「かごしま子供SNS相談・通報窓口」を開設しています。

SNS相談(毎日午後5時から午後9時30分まで)

いじめや友人関係、学校生活、家族に関することまで、身近な人には面と向かって言えないような悩みを気軽に相談できます。

LINEでもパソコン等からでもOK!!



LINE 窓口 webチャットページ

SNS通報(24時間受け付けています)

いじめに関する情報など、友達のことでも自分のことでも、SOSを学校へ伝えることができます。

④ 24時間いつでもあなたの相談☎を持っています。

〈かごしま教育ホットライン24〉

いじめ・不登校・親子関係など子どもにかかわる全てのことについて24時間、電話による相談を受け付けています。

- ☎ 全国統一フリーダイヤル(24時間子どもSOSダイヤル) 固定電話専用フリーダイヤル
0120-0-78310(通話料無料) **0120-783-574**(通話料無料)

不登校児童生徒体験活動支援事業 『おおすみくん家に遊びに来ませんか!!』

- (共催：国立大隅青少年自然の家)
- 対象は小中学生及びその保護者・教職員等です。
 - 臨床心理士による保護者向け懇談会やカウンセリングも行っています。
 - 詳しくは、学校、市町村教育支援センター(適応指導教室)、県教育委員会、高校教育課、国立大隅青少年自然の家にお問い合わせください。



〈海の活動例〉

ひとりで悩まないで

(子どもと若者のための相談窓口のご案内)

かごしま子ども・若者総合相談センター(ひきこもり地域支援センター)では、不登校やひきこもりをはじめとする、様々な悩みをお持ちの方やそのご家族、お知り合い、友人など、どなたからでも相談をお受けしています。ご本人やご家族だけで悩まず、抱え込まないで、まずはご相談ください。相談は無料です。秘密は厳守いたします。

受付時間(月曜休み) 10:00~17:00 土・日・祝日も相談に応じます。
 電話・面談・メールでの相談に応じます。
 電話：099-257-8230
 住所：890-0064 鹿児島市鴨池新町1-8 県青少年会館2階
 メール：soudan-center@hello.odn.ne.jp



〔センターURL〕



青少研ほっとスペース

～子どもの「やりたい!」を引き出し、見守り、支えます～



【活動について】

- 〔対象〕 不登校及び不登校傾向にある小学生及び中学生
 〔実施日〕 毎週水曜日
 午前9時～午後5時 対応時間は要相談(休所日は除く)
 〔活動内容〕 自然の中で体を動かす(ボランティア活動、スポーツ他)
 植物を育てる(苗づくり、花・野菜づくり)等

【問合せ先】

県立青少年研修センター
 住所：鹿児島市宮之浦町4226-1
 電話：099-294-2111

〔センターURL〕

